



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月24日

上場会社名 カゴメ株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 2811 URL http://www.kagome.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西 秀訓
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション本部IR部長 (氏名) 曾根 智子 (TEL) 03-5623-8501
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	103,734	△2.0	5,021	△33.1	5,467	△30.5	3,994	△29.6
25年3月期第2四半期	105,876	12.2	7,503	31.4	7,869	30.7	5,673	88.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 6,370百万円(31.7%) 25年3月期第2四半期 4,837百万円(59.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	40.17	—
25年3月期第2四半期	57.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	173,486	108,562	60.7	1,059.43
25年3月期	168,965	104,432	60.1	1,020.86

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 105,246百万円 25年3月期 101,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	20.0	20.0
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	22.0	22.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	195,000	△0.6	6,800	△26.7	7,200	△28.2	4,700	△27.5	47.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料 8 ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期2Q	99,616,944株	25年3月期	99,616,944株
26年3月期2Q	273,895株	25年3月期	152,284株
26年3月期2Q	99,451,949株	25年3月期2Q	99,465,299株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 6～7 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参 考)

平成26年3月期の個別業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	△ 4.5	6,700	△ 33.0	7,400	△ 30.8	4,100	△ 33.1	41.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	8
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	8
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	8
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	8
3. 四半期連結財務諸表	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	11
第2四半期連結累計期間	11
第2四半期連結会計期間	13
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	15
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	17
(継続企業の前提に関する注記)	17
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	17
(セグメント情報等)	17
4. (参考) ハイライト情報	27
(1) 主要な経営指標の推移	27
(2) 主な当社グループの状況及び業績	28
(3) 販売費及び一般管理費明細	31
(4) 売上原価に含まれるたな卸資産廃棄損及び評価損明細	31
(5) 有価証券関係	32
(6) 四半期損益情報	33
(7) セグメント売上高及びセグメント利益	34
(8) 四半期個別貸借対照表	39
(9) 四半期個別損益計算書	41

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日～9月30日)の日本経済を取り巻く環境は、安倍政権の経済政策アベノミクスにより、景況感の改善基調は緩やかながらも維持される中、生活者にとっては、生活必需品や電気料金の値上げ等の家計圧迫懸念の高まりもあり、先行きが不透明な状況でありました。

当社にとっては新たに策定した平成27年度までの中期経営計画「Next 50」の初年度であり、国内における「新たな需要の創造」、海外における「マルチリージョナル×グローバルな成長」、「資源の強化・連携と最適配分」、社会とともに成長するための「Think GREEN KAGOME」を重点戦略として取り組んでおります。

売上高につきましては前年同期を下回りましたが、平成25年4月より国内のトマトケチャップ・ソース・パスタソース・野菜飲料のうち、一部主力商品の価格を変更したことによる減収影響(売上高の減少と同額の販売促進費の減少)があるためです。当期の価格制度を適用したと仮定して組み替えた前年同期は上回っており、実質的には増収ではありますが、期初における計画には届きませんでした。

国内におきましては、飲料と食品は、実質的には前年並みでしたが、期初に計画した水準には届きませんでした。しかし業務用、ギフト、生鮮野菜、通販につきましては継続して成長しており、いずれの事業においても過去最高の売上となりました。

海外におきましては、平成24年6月末にポルトガルの関連会社Holding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S.A.を連結子会社化したため、第1四半期連結累計期間の同社の売上高が純増しているほか、円安によって円換算での売上高が増加したことなどにより、増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率が前年同期比3.0ポイント上昇しております。その主な要因は、国内において上述した一部主力商品の価格変更に伴い売上高が減少したためです。売上原価率の実質的な上昇は0.5ポイントであり、主に生鮮トマトの市況や為替が当社にとって悪影響したことによるものです。売上高に対する販売促進費の割合は、前年同期比2.9ポイント低下しております。その主な要因も価格の変更による影響であり、上述の通り価格変更による減収と同額の販売促進費の減少があったためです。一方で、価格の変更月である平成25年4月のみ一時的に旧価格制度での販売促進費が計上されました。販売促進費に関わるこれらの要因を考慮した場合の、売上高に対する販売促進費の割合は、実質的に0.4ポイントの上昇となります。広告宣伝費は通販事業において新たなお客様を獲得するために活用したため、2億83百万円増加いたしました。

海外におきましては、米国・欧州・豪州におきましては円安による円換算での利益の増加がありましたが、現地通貨ベースでも米国・欧州・豪州・アジアすべてのエリアにおいて利益が改善いたしました。

以上の結果として、営業利益は前年同期に対して減少いたしました。

以下、参考として、第2四半期連結累計期間の連結損益計算書につきまして、①前年同期、②当期の価格制度を適用したと仮定して組み替えた前年同期、③当第2四半期連結累計期間を並べて掲載いたします。

(単位：百万円、%)

科目	①前第2四半期 連結累計期間		②前第2四半期 連結累計期間 〈組替後〉 (注1)		③当第2四半期 連結累計期間		実質増減 (③-②)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率
売上高	105,876	100.0	100,796	100.0	103,734	100.0	2,937	2.9
売上原価	52,764	49.8	52,764	52.3	54,781	52.8	2,016	3.8
売上総利益	53,111	50.2	48,032	47.7	48,953	47.2	920	1.9
販売手数料	2,575	2.4	2,575	2.5	2,746	2.6	170	6.6
販売促進費	19,985	18.9	14,905	14.8	16,642	16.0	1,737	11.7
広告宣伝費	4,111	3.9	4,111	4.1	4,394	4.2	283	6.9
運賃・保管料	5,396	5.1	5,396	5.3	5,720	5.5	323	6.0
人件費	7,626	7.2	7,626	7.6	7,948	7.7	322	4.2
その他	5,914	5.6	5,914	6.0	6,479	6.4	565	9.6
販売費及び一般管理費	45,608	43.1	40,528	40.3	43,931	42.4	3,403	8.4
営業利益	7,503	7.1	7,503	7.4	5,021	4.8	△2,482	△33.1

(注) 1 平成25年3月期に平成26年3月期の価格制度を適用したと仮定した場合。

2 価格制度の変更月である平成25年4月のみ一時的に計上された旧価格制度での販売促進費875百万円を含む。これを控除した場合の③の売上高に対する販売促進費の割合は15.2%。

③と②の比較が実質的な利益の増減を表しております。売上高は増加し、売上原価率は主に生鮮トマトの市況や為替が悪影響したことにより、上昇いたしました。販売促進費の増加の要因は、上述した価格の変更月における旧価格制度での計上という一時的なものです。販促手段の獲得のための費用も増加いたしました。広告宣伝費等の費用の増加は、「Next 50」実現のための投資的費用の活用によるものです。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比2.0%減の1,037億34百万円、営業利益は前年同期比33.1%減の50億21百万円、経常利益は前年同期比30.5%減の54億67百万円となりました。なお、保有していた投資有価証券を売却し、その際に生じた売却益を特別利益として計上しております。その結果、四半期純利益は前年同期比29.6%減の39億94百万円となりました。

セグメントの業績の概況は、次の通りであります。

<国内事業>

国内事業の売上高は、飲料事業及び食品事業における価格の変更による減少を含めて、前年同期比4.2%減の976億41百万円となりました。各事業別の売上高の状況は、以下の通りです。

① 飲料事業

野菜飲料カテゴリーにつきましては、「野菜生活100」シリーズにおいて、重点マーケティングテーマ「地産全消」を象徴する商品として「野菜生活100 沖縄シークワサーミックス」（平成25年5月発売）、「野菜生活100 北海道ハスカップミックス」（同6月発売）、「野菜生活100 かぼすミックス」（同8月発売、西日本エリア限定）、「野菜生活100 ナイアガラミックス」（同9月発売）といった、地域色が豊かで季節感の溢れる期間限定商品が好調に推移いたしました。「野菜一日これ一本」シリーズにつきましては、缶商品の賞味期限を3.5年に延長したことを契機に、「野菜の保存食」としての価値を提案し、普及にも努めました。またシニア世代をターゲットとして、一日に必要な野菜量350g分を125mlに濃縮した「野菜一日これ一本 超濃縮」シリーズにつきましては、小売店への配荷が進んだことや、9月に新商品「野菜一日これ一本 超濃縮しっとり食物繊維」を発売したこともあり、好調に推移いたしました。トマト飲料につきましては、カゴメ独自のトマト加工技術により後味のすっきり感を実現した、トマトから生まれたスポーツドリンク「TOMATO WATER」をコンビニエンスストア限定で7月に発売し、スポーツシーンでのトマト摂取を提案いたしました。また、毎年好評頂いております新物のトマトジュースにおきましては、今夏はフレッシュな美味しさを価値とする低温度帯の商品も数量限定で発売し、好評を頂きました。

これら施策の結果、野菜飲料カテゴリーは、価格制度の変更のために減収になっておりますが、実質的にはトマトブームの反動によるトマトジュースの落ち込みをカバーし、前年を少し上回りました。

乳酸菌カテゴリーにつきましては、8月までは前年を下回る水準が続いておりましたが、9月に機能を価値とした新商品「植物性乳酸菌ラブレ Light 1日分の鉄分」を発売し、俳優の松田龍平さんを起用したTVコマercialも行ったところ、復調の兆しが見えてきました。今後、店頭での取り扱いを広げる活動に努めてまいります。

その結果、飲料事業の売上高は、価格の変更による減少を含めて、前年同期比7.5%減の492億38百万円となりました。

② 食品事業

トマトケチャップにつきましては、ナポリタンスパゲティの提案をしたことなどにより、好調に推移いたしました。トマト調味料につきましては、平成25年3月に使いやすく環境負荷の低い紙容器「トマトパック」シリーズを発売し、育成に注力いたしました。「かけるトマト」につきましては、パックを開けたらそのままトマトを手軽に料理にかけられるということ、「おかずの上を、トマトかけめぐる。」というメッセージで伝える広告を行っておりました。予想を遥かに上回る好評を頂いたことで、一時販売を休止せざるを得なくなりましたが、9月に関東の1都9県にて再発売いたしました。パスタソースにつきましては、8月に人気の「アンナマンマ」シリーズから新たに3品のフレーバーを発売いたしました。手軽に、トマトの濃いおいしさをお楽しみ頂けることに高い評価を頂き、好調に推移しております。ソースにつきましては堅調に推移いたしました。食品事業合計では価格の変更のために減収となりましたが、実質的には前年を少し上回る売上水準でありました。

その結果、食品事業の売上高は、価格の変更による減少を含めて、前年同期比15.2%減の115億81百万円となりました。

③ ギフト事業

中元市場全体は縮小という厳しい環境下、当社では各流通チャネルにおいて高い採用率を獲得し、第2四半期連結累計期間における過去最高の売上高となりました。野菜飲料ギフトや国産ギフトに加え、企業限定や地域限定などプレミアム感を打ち出した商品が好調に推移いたしました。またトマトの焼き菓子「トマッティーニ」やトマトのゼリー「F r u t t o m a (フルーツマ)」といったスイーツギフトにより、母の日や手土産といった中元期以外の需要を開拓できました。

その結果、ギフト事業の売上高は、前年同期比4.2%増の56億54百万円となりました。

④ 生鮮野菜事業

「ダブルトマトでおいしく！」をテーマに「トマトフェア」や「カゴメフェア」など野菜飲料や食品と連動した店頭展開の機会を獲得できたことや、生鮮トマトの作柄が良かったこともあり、第2四半期連結累計期間における過去最高の売上高となりました。一方、作柄が良い時は市場に出回るトマトの総量が増えますので、販売単価は上がり、原価率は上昇いたしました。これにより利益は減少することとなりました。

その結果、生鮮野菜事業の売上高は、前年同期比7.2%増の55億79百万円となりました。

⑤ 通販事業

主力商品「毎日飲む野菜」につきましては、平成25年6月に新たなお客様を獲得するための広告手段を追加したことにより、当第2四半期連結会計期間（平成25年7月～9月）の販売量が増加し、好調に推移いたしました。また、商品供給体制が整い3年ぶりに再発売いたしました数量限定商品「桃しぼり」の販売も好調であり、売上高の増分に寄与いたしました。

その結果、通販事業の売上高は、第2四半期連結累計期間におきましては過去最高となり、前年同期比9.9%増の44億33百万円となりました。

⑥ 業務用事業

「トマト素材」「トマトソース」「野菜素材」「野菜飲料」を重点商品カテゴリーに設定し、売上拡大を図ってまいりました。大手ユーザーや産業用に向けたサポート体制を強化してきた成果が表れ、売上高は順調に推移いたしました。また「トマト・ディスカバリーズ」の取り組みの一環として、「トマト×スイーツ」の新しいおいしさ・楽しさを提案するため、㈱銀座コージーコーナー社と共同開発したメニュー・商品を同社の店舗にて提供・販売いたしました。

その結果、業務用事業の売上高は、第2四半期連結累計期間におきましては過去最高となり、前年同期比2.5%増の131億21百万円となりました。

⑦ その他事業

運送・倉庫業、不動産賃貸業、パーキング事業、原材料販売などをあわせた国内におけるその他事業の売上高は、前年同期比6.4%増の80億32百万円となりました。

<海外事業>

海外事業の売上高は、前年同期比34.1%増の149億34百万円となりました。各地域別の状況は、以下の通りです。

① 米国

米国子会社であるKAGOME INC. は、円安に伴い円換算での売上高が増加いたしました。現地における大手顧客向けの出荷も順調に推移しております。

その結果、米国における売上高は、前年同期比21.6%増の64億91百万円となりました。

② 欧州

ポルトガルの子会社Holding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S.A. を平成24年6月末に連結子会社化いたしましたので、同社の第1四半期連結累計期間分の売上高が純増いたしました。イタリアの子会社であるVegitalia S.p.A. は、円安に伴い円換算での売上高が増加いたしました。現地での出荷も順調に推移しております。

その結果、欧州における売上高は、前年同期比132.3%増の51億43百万円となりました。

③ 豪州

豪州子会社であるKagome Australia Pty Ltd. につきましては、現地市場におけるトマト加工品の価格の低下の影響を受け、売上高が前年同期を下回りました。

その結果、豪州における売上高は、前年同期比24.5%減の18億6百万円となりました。

④ アジア

台湾可果美股份有限公司は、円安に伴い円換算での売上高が増加いたしました。現地通貨ベースでの売上高は前年同期水準で推移しております。可果美(杭州)食品有限公司は、香港市場向けの野菜飲料の生産量が増えていることに加えて、円安の影響もあり売上高が増加いたしました。

その結果、アジアにおける売上高は、前年同期比25.4%増の14億92百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間は、総資産につきましては、前期末に比べ45億20百万円増加いたしました。

流動資産につきましては、前期末に比べ37億98百万円増加いたしました。

主な流動資産の変動は、「現金及び預金」が10億87百万円、「受取手形及び売掛金」が29億66百万円、流動資産「その他」が15億68百万円それぞれ増加し、「有価証券」が21億39百万円減少したことによります。

固定資産につきましては、前期末に比べ7億21百万円増加いたしました。

主な固定資産の変動は、「有形固定資産」が17億74百万円増加し、「無形固定資産」が7億37百万円、「投資その他の資産」が3億15百万円それぞれ減少したことによります。

負債につきましては、前期末に比べ3億90百万円増加いたしました。

主な負債の変動は、「短期借入金」が9億83百万円、「1年内返済予定の長期借入金」が9億97百万円、「長期借入金」が9億39百万円それぞれ増加し、「支払手形及び買掛金」が9億97百万円、「未払金」が9億86百万円、流動負債「その他」が5億18百万円それぞれ減少したことによります。

純資産につきましては、前期末に比べ41億29百万円増加いたしました。

主な純資産の変動は、剰余金の配当19億89百万円と、四半期純利益39億94百万円により「利益剰余金」が20億5百万円増加したことと、「繰延ヘッジ損益」が7億48百万円、「為替換算調整勘定」が10億33百万円それぞれ増加したことによります。

この結果、自己資本比率は60.7%、1株当たり純資産は1,059円43銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況に関する説明)

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物は、207億64百万円となり、前期末比で35億52百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、25億62百万円の純収入（前年同期は81億12百万円の純収入）となりました。この主要因は、税金等調整前四半期純利益が63億61百万円となったこと、減価償却費が24億66百万円となったこと（以上、キャッシュの純収入）、売上債権が24億86百万円増加したこと、仕入債務が12億49百万円減少したこと（以上、キャッシュの純支出）、法人税等の支払いにより21億91百万円を支出したことによります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、51億94百万円の純支出（前年同期は6億88百万円の純支出）となりました。この主要因は、定期預金の預入により50億円を支出したこと、定期預金の払戻により25億円の収入となったこと、有価証券の売却及び償還により16億18百万円の収入となったこと、固定資産の取得により43億52百万円を支出したことによります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、12億28百万円の純支出（前年同期は36億21百万円の純支出）となりました。この主要因は、短期借入金の純増減により6億7百万円の支出となったこと、長期借入金の借入により21億30百万円の収入となったこと、長期借入金の返済により3億80百万円を支出したこと、配当金の支払により19億83百万円を支出したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期(平成25年4月1日～平成26年3月31日)の通期の連結業績予想につきましては、下記の通り売上高・営業利益・経常利益・当期純利益の予想を修正いたしました。個別の業績において、第2四半期累計期間における飲料事業と食品事業の売上が前年同期水準となり、期初の計画に届かなかったことが主な理由ですが、第3四半期以降においても同様の傾向が残ることや、売上原価の上昇見通しなども反映いたしました。個別のそれ以外の事業及びグループ会社の業績は順調に推移しております。

平成25年10月18日公表 「業績予想の修正に関するお知らせ」

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	196,000	8,900	9,200	5,300	53.29
今回修正予想 (B)	195,000	6,800	7,200	4,700	47.26
増減額 (B-A)	△1,000	△2,100	△2,000	△600	—
増減率 (%)	△0.5	△23.6	△21.7	△11.3	—
(ご参考) 前期実績(平成25年3月期)	196,233	9,278	10,025	6,480	65.15

<国内事業>

① 飲料事業

野菜飲料カテゴリにつきましては、野菜そのもののおいしさを引き出す事に加えて、野菜を手軽に摂取できる価値を更に深耕し、市場全体を成長させる需要創造に取り組んでまいります。このことはお客様の健康に貢献することにつながり、野菜飲料カテゴリのトップブランドとして当社が果たすべき責務でもあります。具体的には、「三世代飲料」として個々の生活者の健康期待への対応力を高めていくとともに、生活リズムやスポーツシーン、受験生応援などのライフイベントにも幅広く向き合うことで、お客様と深く永く付き合える飲料を目指してまいります。

トマト飲料につきましては、日本国内における公式飲料スポンサーとなる契約を締結しておりますイングランドプレミアリーグに所属するプロサッカークラブ「マンチェスター・ユナイテッド・フットボール・クラブ」と共同して、平成25年8月～12月にフットサル全国大会『カラダ再生カップ2013』を開催し、スポーツシーンでのトマトの摂取を提案してまいります。また商品では、10月から5ヵ月間の期間限定で、20～30代女性の夜のリラックスに最適なおいしいトマトの炭酸飲料「TOMASH(トマッシュ)」をPETボトルにて発売し、トマト飲料の新たな飲用シーンを提案してまいります。

野菜生活シリーズにつきましては、季節感溢れ特長ある産地の原料を使用した期間限定商品の開発を継続し、「地産全消」で地域の美味しさを全国に届ける活動によって、新たなお客様の獲得とともに、地域の活性化を目指してまいります。10月には山形産のラ・フランスを原料に使用した「野菜生活100 ラ・フランスミックス」を発売いたしました。

野菜一日これ一本シリーズにおきましては、好調な「超濃縮」シリーズの更なる拡販に努めてまいります。

乳酸菌カテゴリにつきましては、引き続き9月に発売いたしました機能を価値とした新商品「植物性乳酸菌ラブレ Light 1日分の鉄分」の拡販に努めてまいります。

② 食品事業

トマトの持つおいしさ、彩り、ヘルシーさといった価値を商品やメニューを通じて発信し、トマトメニュー調味料の魅力を高めてまいります。

メニューといたしましては、ナポリタンスパゲティに特に注力し、食卓への登場頻度の向上とトマトケチャップの消費拡大に努めてまいります。平成25年11月2日～4日には、一連のメニュー提案の取り組みの象徴として全国のおいしいナポリタンをその発祥の地である横浜に集めた実食イベント『ナポリタンスタジアム』を開催いたします。

新商品につきましては、定番の鍋メニューの一つとして定着しつつあるトマト鍋用のスープとして「甘熟トマト鍋スープ」、「トマト担々鍋スープ」の2品を発売し、新たなトマト味の定着を目指してまいります。またパスタソースにおきましては、好調な瓶入りパスタソース「アンナマンマ」の拡販に努め、カテゴリの活性化を図ってまいります。

③ ギフト事業

飲料ギフトの市場そのものは近年縮小傾向にありますが、健康・おいしさ・思いやり・限定感といったカゴメギフトならではの贈答需要の創造を目指してまいります。スイーツやフリーズドライのスープなどの新しいカテゴリーへの挑戦や、インターネット通販やカタログ通販など拡大する販売チャネルへの機動的な対応力を強化することで、ギフト事業の幅を広げて成長を目指してまいります。

④ 生鮮野菜事業

「こくみトマト」ブランドの「ラウンド」、「プラム」及び育成商品である「高リコピントマト」、「ちいさなももこ」を中心に、生鮮トマトメニューの情報発信をしてまいります。特に小売店の店頭において、当社家庭用商品との連動展開により「ダブルトマトでおいしく!」をテーマに、露出機会の増加と需要の拡大を図ってまいります。

⑤ 通販事業

「毎日飲む野菜」、「毎日飲む野菜と果実」を中心として、トライアルキャンペーンや広告投資により新規のお客様を獲得し、更なる売上高の拡大を図ってまいります。今後もシーズンや産地を訴求した飲料など、野菜と果実の魅力を追求め、健康価値にとどまらない多面的な価値を持つ商品を開発・発売してまいります。また、飲料に次ぐ事業の柱にすべくサプリメントの拡大にも取り組んでまいります。

⑥ 業務用事業

野菜飲料の市場拡大により、レストランのドリンクバーやホテルの朝食バイキングをはじめとする外食シーンにおいても野菜飲料を飲みたいというお客様ニーズが高まっております。それに対応して平成25年7月、水を加えて作る新しいタイプの業務用トマト飲料「濃縮トマト飲料(3倍希釈・有塩)」を発売いたしました。既存商品を加えた濃縮野菜飲料シリーズでお客様の飲用ニーズにお応えしてまいります。また、外食や中食の市場において野菜を中心としたメニューが広まってきており、これを機会と捉え、7月に野菜をおいしく食べられる「バジルソース」を発売し、野菜メニューの提案を強化しております。これら商品以外にも、ナポリタンやトマト鍋といったトマトメニューにつきましては、食品事業とも連携し出現頻度のアップに取り組み、お客様にトマトのおいしさをもっと知って頂くことで売上の拡大を図ってまいります。

⑦ その他事業

引き続き、運送・倉庫業、不動産賃貸業、パーキング事業、原材料販売などを行ってまいります。

<海外事業>

米国・欧州・豪州におきましては、主にトマトの生産・加工・販売事業を展開しておりますので、グループ企業の連携を強化して、各リージョンにおける成長と、グローバルなトマト事業全体でのシナジーを生む成長を目指してまいります。平成25年9月には、米国をはじめ5か国に事業会社を持ち、グローバルにトマトや野菜、フルーツの種子開発・生産・販売を展開しておりますUnited Genetics Holding LLCを11月から連結子会社とすることを発表いたしました。

アジアにおきましては、東アジア・ASEAN・インドのリージョン毎に、現地市場に立脚した事業の組み立てを促進し、成長の早期化を目指してまいります。4月には、インドにおいて三井物産㈱及び現地の食品メーカーであるRuchi Soya Industries Limitedと共同でトマト加工品の製造・販売事業会社を設立することを発表いたしました。また、8月には中国にて業務用のトマト調味料の製造販売、仕入販売を行う可果美(天津)食品制造有限公司を設立することを発表いたしました。両事業ともに、現在事業開始に向けて準備を進めてまいります。なお、タイにおける飲料及び食品などの製造販売事業を展開しておりますOSOTSPA KAGOME CO., LTD.におきましては、9月にコンシューマー向けの小瓶入りワンショットトマト健康飲料「Tomato Essence」を発売いたしました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

有形固定資産の減価償却方法の変更

従来、当社及び一部の国内連結子会社は有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について主として定率法（平成10年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）については定額法）を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法へ変更しております。

この変更は、当連結会計年度を初年度とする中期経営計画「Next 50」の策定に際し、①有形固定資産の利用状況を調査した結果、当社グループの有形固定資産は、耐用年数内で安定的に稼働していること、②今後の中期的な主たる投資内容を慎重に分析した結果、昨年度の茨城工場チルドライン投資を含めて、今後の主なライン設備投資は、安定的に稼働させることを目的とし、かつ、安定的稼働が見込まれること、③グループの製品群も安定的な収益の獲得が見込まれることから、使用可能期間にわたり平均的に費用配分することが、設備の利用実態を適切に反映していると判断したためであります。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の減価償却費は479百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ426百万円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,498	19,586
受取手形及び売掛金	27,175	30,142
有価証券	14,817	12,677
商品及び製品	15,031	15,139
仕掛品	590	114
原材料及び貯蔵品	14,515	15,212
その他	8,316	9,884
貸倒引当金	△111	△123
流動資産合計	98,835	102,633
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,611	14,787
機械装置及び運搬具(純額)	13,809	14,286
工具、器具及び備品(純額)	869	983
土地	12,814	13,329
リース資産(純額)	1,373	1,171
建設仮勘定	787	1,481
有形固定資産合計	44,265	46,040
無形固定資産		
のれん	1,996	1,632
ソフトウェア	2,802	2,451
その他	382	360
無形固定資産合計	5,182	4,444
投資その他の資産		
投資有価証券	14,421	14,087
その他	6,352	6,370
貸倒引当金	△90	△90
投資その他の資産合計	20,683	20,367
固定資産合計	70,130	70,852
資産合計	168,965	173,486

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,803	13,806
短期借入金	7,010	7,993
1年内返済予定の長期借入金	1,006	2,004
未払金	11,594	10,608
未払法人税等	2,283	2,352
賞与引当金	2,386	1,935
役員賞与引当金	76	25
その他	2,687	2,168
流動負債合計	41,848	40,894
固定負債		
長期借入金	15,522	16,462
退職給付引当金	2,839	3,012
その他	4,322	4,553
固定負債合計	22,684	24,029
負債合計	64,533	64,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,985	19,985
資本剰余金	23,733	23,733
利益剰余金	54,599	56,605
自己株式	△212	△418
株主資本合計	98,106	99,905
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,254	2,380
繰延ヘッジ損益	1,664	2,412
為替換算調整勘定	△485	547
その他の包括利益累計額合計	3,433	5,340
少数株主持分	2,892	3,315
純資産合計	104,432	108,562
負債純資産合計	168,965	173,486

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	105,876	103,734
売上原価	52,764	54,781
売上総利益	53,111	48,953
販売費及び一般管理費	45,608	43,931
営業利益	7,503	5,021
営業外収益		
受取利息	144	118
受取配当金	173	144
持分法による投資利益	41	59
為替差益	—	47
その他	204	215
営業外収益合計	563	585
営業外費用		
支払利息	139	79
為替差損	14	—
その他	43	59
営業外費用合計	197	138
経常利益	7,869	5,467
特別利益		
固定資産売却益	320	323
投資有価証券売却益	1	670
受取補償金	490	—
負ののれん発生益	214	—
持分変動利益	48	—
特別利益合計	1,075	994
特別損失		
固定資産処分損	64	100
投資有価証券売却損	16	—
ゴルフ会員権評価損	4	—
事業整理損	0	—
特別損失合計	87	100
税金等調整前四半期純利益	8,858	6,361
法人税、住民税及び事業税	3,249	2,205
法人税等調整額	△18	11
法人税等合計	3,230	2,217
少数株主損益調整前四半期純利益	5,627	4,144
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△46	149
四半期純利益	5,673	3,994

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△46	149
少数株主損益調整前四半期純利益	5,627	4,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△286	125
繰延ヘッジ損益	△368	735
為替換算調整勘定	△481	1,364
持分法適用会社に対する持分相当額	346	—
その他の包括利益合計	△790	2,226
四半期包括利益	4,837	6,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,968	5,902
少数株主に係る四半期包括利益	△131	468

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	54,384	52,890
売上原価	26,813	27,331
売上総利益	27,570	25,559
販売費及び一般管理費	24,292	22,723
営業利益	3,278	2,836
営業外収益		
受取利息	90	60
受取配当金	16	23
持分法による投資利益	29	56
その他	114	95
営業外収益合計	250	236
営業外費用		
支払利息	101	37
その他	44	41
営業外費用合計	146	78
経常利益	3,381	2,994
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	—	668
受取補償金	107	—
持分変動利益	48	—
特別利益合計	157	668
特別損失		
固定資産処分損	43	75
ゴルフ会員権評価損	4	—
事業整理損	0	—
特別損失合計	49	75
税金等調整前四半期純利益	3,490	3,586
法人税、住民税及び事業税	1,383	1,171
法人税等調整額	35	△1
法人税等合計	1,418	1,170
少数株主損益調整前四半期純利益	2,071	2,416
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△77	114
四半期純利益	2,148	2,301

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△77	114
少数株主損益調整前四半期純利益	2,071	2,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	109
繰延ヘッジ損益	△40	△272
為替換算調整勘定	△988	60
その他の包括利益合計	△1,037	△102
四半期包括利益	1,033	2,314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,303	2,063
少数株主に係る四半期包括利益	△269	250

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,858	6,361
減価償却費	2,497	2,466
のれん償却額	354	417
負ののれん発生益	△214	—
受取利息及び受取配当金	△317	△263
支払利息	139	79
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△393	△508
その他の引当金の増減額 (△は減少)	211	164
持分法による投資損益 (△は益)	△41	△59
有価証券売却損益 (△は益)	15	△672
固定資産除売却損益 (△は益)	△255	△222
受取補償金	△490	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,323	△2,486
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,524	821
未収入金の増減額 (△は増加)	△1,021	△71
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,555	△1,249
未払金の増減額 (△は減少)	1,312	34
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△462	△488
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△163	△313
その他の増減額 (△は減少)	△137	610
小計	10,648	4,620
利息及び配当金の受取額	328	212
利息の支払額	△143	△78
補償金の受取額	490	—
法人税等の支払額	△3,211	△2,191
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,112	2,562
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,000	△5,000
定期預金の払戻による収入	10,000	2,500
有価証券の取得による支出	△7	△6
有価証券の売却及び償還による収入	2,307	1,618
固定資産の取得による支出	△3,406	△4,352
固定資産の売却による収入	390	334
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	36	—
関係会社株式の取得による支出	—	△301
その他の増加額	88	40
その他の減少額	△97	△27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△688	△5,194

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,182	△607
長期借入による収入	6,103	2,130
長期借入金の返済による支出	△6,623	△380
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△194	△135
少数株主からの払込みによる収入	76	—
配当金の支払額	△1,760	△1,983
少数株主への配当金の支払額	△40	△45
自己株式の取得による支出	△0	△205
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,621	△1,228
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	308
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,813	△3,552
現金及び現金同等物の期首残高	17,549	24,316
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,363	20,764

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、国内外で食品の生産、製造、仕入及び販売をしております。

国内においては、「飲料」、「食品」、「ギフト」、「生鮮野菜」、「通販」の5つと、「業務用」、「その他」の2つを合わせた7つを報告セグメントとしております。

海外においては、生産・販売体制を基礎とした地域別セグメントから構成されており、トマト製品に関連する「グローバルトマト事業」における「米国」、「欧州」、「豪州」の3つと「アジア」を合わせた4つを報告セグメントとしております。

なお、国内事業は製品の種類により分化しており、各セグメントの補足は以下の通りです。

「飲料」は、野菜飲料、フルーツ飲料、乳酸菌などが対象となります。

「食品」は、調味料、調理食品が対象となります。

「ギフト」は、主として飲料のギフトが対象となります。

「生鮮野菜」は、各菜園での生鮮トマトの生産とその販売を行っており、社内カンパニーである農カンパニーが、事業を統括しております。

「通販」は、通販専用の飲料やサプリメントなどを自社で通信販売しており、社内カンパニーである通販事業カンパニーが、事業を統括しております。

「業務用」は、主として外食産業や食品メーカーにおける調味料、素材、飲料などが対象となります。

「その他」は、不動産事業、物流事業、原材料売却事業などが対象となります。

海外事業においては、各地域で包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「米国」においては、KAGOME INC. が主に外食向け調味料の製造、販売を行っております。

「欧州」においては、イタリアでVegitalia S.p.A. が冷凍野菜の製造、販売を、ポルトガルでHolding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S.A. がトマト加工品の製造、販売を行っております。

「豪州」においては、Kagome Australia Pty Ltd. が生トマトの生産、加工、販売を行っております。

「米国」、「欧州」、「豪州」については、社内カンパニーであるトマト事業カンパニーが、事業を統括しております。

「アジア」においては、主として台湾で台湾可果美股份有限公司が調味料及び飲料の製造、販売を、中国で可果美(杭州)食品有限公司が飲料の製造、販売を、可果美餐飲管理(無錫)有限公司がオフィス給食事業を、タイでOSOTSPA KAGOME CO., LTD. が飲料製品の商品開発及びマーケティングを行っております。

「アジア」については、社内カンパニーであるアジア事業カンパニーが、事業を統括しております。

第1四半期連結会計期間より、当社グループの組織変更に伴い、セグメント名称の一部及び報告セグメント区分の一部を変更いたしました。

国内においては、従来、一般の消費者を対象とした「コンシューマー事業」における「飲料」、「食品」、「ギフト」、「生鮮野菜」、「メディア通販」の5つと、「業務用事業」、「その他」の2つを合わせた7つを報告セグメントとしておりましたが、「飲料」、「食品」、「ギフト」、「生鮮野菜」、「通販」の5つと、「業務用」、「その他」の2つを合わせた7つを報告セグメントとしております。

また、海外においては、従来、「米国」、「欧州」、「アジア」、「豪州」の4つを報告セグメントとしておりましたが、トマト製品に関連する「グローバルトマト事業」における「米国」、「欧州」、「豪州」の3つと「アジア」を合わせた4つを報告セグメントとしております。

なお、前第2四半期連結累計期間及び前第2四半期連結会計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
売上高								
外部顧客に対する売上高	53,253	13,659	5,428	5,206	4,035	12,795	913	95,292
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	6,634	6,634
計	53,253	13,659	5,428	5,206	4,035	12,795	7,547	101,926
セグメント利益又は損失(△)	4,095	1,165	299	786	242	1,093	131	7,814

(単位：百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国	欧州	豪州	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	5,311	1,719	2,390	9,421	1,162	10,583	—	105,876
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	495	—	521	28	549	△7,183	—
計	5,337	2,214	2,390	9,942	1,190	11,133	△7,183	105,876
セグメント利益又は損失(△)	263	△298	△160	△195	△115	△310	—	7,503

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
売上高								
外部顧客に対する売上高	49,238	11,581	5,654	5,579	4,433	13,121	933	90,542
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	7,099	7,099
計	49,238	11,581	5,654	5,579	4,433	13,121	8,032	97,641
セグメント利益又は損失(△)	2,630	386	131	643	39	665	265	4,762

(単位：百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国	欧州	豪州	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	6,539	3,461	1,806	11,806	1,384	13,191	—	103,734
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△48	1,682	—	1,634	107	1,742	△8,841	—
計	6,491	5,143	1,806	13,441	1,492	14,934	△8,841	103,734
セグメント利益又は損失(△)	338	41	△60	319	△61	258	—	5,021

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

前第2四半期連結会計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

(単位: 百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
売上高								
外部顧客に対する売上高	27,485	6,687	3,066	2,219	2,326	6,570	421	48,777
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	3,534	3,534
計	27,485	6,687	3,066	2,219	2,326	6,570	3,956	52,311
セグメント利益又は損失(△)	2,202	594	△368	198	281	559	103	3,570

(単位: 百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国	欧州	豪州	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	2,595	1,497	901	4,993	613	5,607	—	54,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	367	—	378	16	394	△3,929	—
計	2,606	1,864	901	5,372	629	6,002	△3,929	54,384
セグメント利益又は損失(△)	106	△196	△133	△223	△69	△292	—	3,278

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結会計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
売上高								
外部顧客に対する売上高	24,983	5,687	3,035	2,612	2,636	6,718	400	46,074
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	3,691	3,691
計	24,983	5,687	3,035	2,612	2,636	6,718	4,091	49,766
セグメント利益又は損失(△)	1,385	366	△631	803	411	255	129	2,721

(単位：百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国	欧州	豪州	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	3,475	1,673	918	6,067	748	6,816	—	52,890
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△70	821	△4	746	79	826	△4,517	—
計	3,405	2,494	914	6,814	827	7,642	△4,517	52,890
セグメント利益又は損失(△)	149	85	△80	153	△39	114	—	2,836

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更による影響額)

有形固定資産の減価償却方法の変更

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載の通り、従来、当社及び一部の国内連結子会社は有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について主として定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法へ変更しております。

この変更によるセグメント利益に与える影響は次の通りであります。

(単位：百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
セグメント利益	254	37	13	2	6	86	25	426

(単位：百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国	欧州	豪州	計				
セグメント利益	—	—	—	—	—	—	—	426

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(減損損失)

該当事項はありません。

(のれん)

のれんに関する報告セグメント別情報

(単位：百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
当四半期償却額	—	—	—	—	—	—	—	—
当四半期末残高	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位：百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国	欧州	豪州 (注)	計				
当四半期償却額	—	—	354	354	—	354	—	354
当四半期末残高	—	—	2,114	2,114	—	2,114	—	2,114

(注) オーストラリア最大手の生トマト加工・販売メーカーであるセデンコ・オーストラリア社(現Kagome Foods Australia Pty Ltd.)及び同社に供給するトマトを栽培するSSファームズ社(現Kagome Farms Australia Pty Ltd.)の事業譲受けに伴い発生したものであります。

(負ののれん発生益)

負ののれん発生益に関する報告セグメント別情報

(単位：百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
当四半期発生額	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位：百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国	欧州 (注)	豪州	計				
当四半期発生額	—	214	—	214	—	214	—	214

(注) 持分法適用関連会社であったHolding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S. A.の株式を追加取得し連結子会社としたことに伴い発生したものであります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(減損損失)

該当事項はありません。

(のれん)

のれんに関する報告セグメント別情報

(単位：百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
当四半期償却額	—	—	—	—	—	—	—	—
当四半期末残高	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位：百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国	欧州	豪州 (注)	計				
当四半期償却額	—	—	417	417	—	417	—	417
当四半期末残高	—	—	1,632	1,632	—	1,632	—	1,632

(注) オーストラリア最大手の生トマト加工・販売メーカーであるセデンコ・オーストラリア社(現Kagome Foods Australia Pty Ltd.)及び同社に供給するトマトを栽培するSSファームズ社(現Kagome Farms Australia Pty Ltd.)の事業譲受けに伴い発生したものであります。

(負ののれん発生益)

該当事項はありません。

前第2四半期連結会計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

(減損損失)

該当事項はありません。

(のれん)

のれんに関する報告セグメント別情報

(単位：百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
当四半期償却額	—	—	—	—	—	—	—	—
当四半期末残高	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位：百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国	欧州	豪州 (注)	計				
当四半期償却額	—	—	174	174	—	174	—	174
当四半期末残高	—	—	2,114	2,114	—	2,114	—	2,114

(注) オーストラリア最大手の生トマト加工・販売メーカーであるセデンコ・オーストラリア社(現Kagome Foods Australia Pty Ltd.)及び同社に供給するトマトを栽培するSSファームズ社(現Kagome Farms Australia Pty Ltd.)の事業譲受けに伴い発生したものであります。

当第2四半期連結会計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

(減損損失)

該当事項はありません。

(のれん)

のれんに関する報告セグメント別情報

(単位：百万円)

	国内事業							
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計
当四半期償却額	—	—	—	—	—	—	—	—
当四半期末残高	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位：百万円)

	海外事業						調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	グローバルトマト事業				アジア	計		
	米国	欧州	豪州 (注)	計				
当四半期償却額	—	—	210	210	—	210	—	210
当四半期末残高	—	—	1,632	1,632	—	1,632	—	1,632

(注) オーストラリア最大手の生トマト加工・販売メーカーであるセデンコ・オーストラリア社(現Kagome Foods Australia Pty Ltd.)及び同社に供給するトマトを栽培するSSファームズ社(現Kagome Farms Australia Pty Ltd.)の事業譲受けに伴い発生したものであります。

4. (参考) ハイライト情報

(1) 主要な経営指標の推移

【連結経営指標等】

決算年月		平成24年9月	平成25年9月	平成24年3月	平成25年3月	平成26年3月 予想
会計期間		自 平成24年 4月1日 至 平成24年 9月30日	自 平成25年 4月1日 至 平成25年 9月30日	自 平成23年 4月1日 至 平成24年 3月31日	自 平成24年 4月1日 至 平成25年 3月31日	自 平成25年 4月1日 至 平成26年 3月31日
売上高 (注1)	(百万円)	105,876	103,734	180,047	196,233	195,000
売上高伸び率	(%)	12.2	△2.0	△0.7	9.0	△0.6
営業利益	(百万円)	7,503	5,021	8,466	9,278	6,800
売上高営業利益率	(%)	7.1	4.8	4.7	4.7	3.5
経常利益	(百万円)	7,869	5,467	9,213	10,025	7,200
売上高経常利益率	(%)	7.4	5.3	5.1	5.1	3.7
税金等調整前四半期(当期)純利益	(百万円)	8,858	6,361	6,505	10,539	7,900
売上高税金等調整前四半期(当期)純利益率	(%)	8.4	6.1	3.6	5.4	4.1
四半期(当期)純利益	(百万円)	5,673	3,994	4,217	6,480	4,700
売上高四半期(当期)純利益率	(%)	5.4	3.9	2.3	3.3	2.4
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	57.04	40.17	42.40	65.15	47.26
自己資本四半期(当期)純利益率	(%)	6.1	3.9	4.7	6.7	—
総資産経常利益率	(%)	5.1	3.2	6.3	6.3	—
総資産	(百万円)	161,156	173,486	148,207	168,965	—
純資産	(百万円)	97,068	108,562	92,815	104,432	—
自己資本比率	(%)	58.8	60.7	61.8	60.1	—
1株当たり純資産	(円)	952.75	1,059.43	920.81	1,020.86	—
四半期末(期末)株価	(円)	1,791	1,669	1,620	1,785	—
株価収益率	(倍)	31.4	41.5	38.2	27.4	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	8,112	2,562	11,757	7,407	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△688	△5,194	△4,985	△1,781	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△3,621	△1,228	△1,861	1,050	—
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	(百万円)	21,363	20,764	17,549	24,316	—
従業員数	(名)	2,258	2,235	2,101	2,209	2,400
〔外、平均臨時雇用者数〕		〔1,620〕	〔1,659〕	〔1,468〕	〔1,561〕	
固定投資額	(百万円)	4,710	2,949	4,762	9,269	7,000
〔うち有形固定資産〕		〔3,938〕	〔2,826〕	〔3,482〕	〔8,134〕	〔6,400〕
減価償却費	(百万円)	2,497	2,466	5,372	5,453	4,900
〔うち有形固定資産〕		〔2,205〕	〔2,032〕	〔4,776〕	〔4,774〕	〔4,000〕
研究開発費	(百万円)	1,385	1,478	2,655	3,009	3,000
広告宣伝費	(百万円)	4,111	4,394	6,122	7,053	7,000
期中米ドル決済レート(注2)	(円)	84.3	93.0	88.4	84.1	—

(注) 1. 売上高に消費税等は含まれておりません。

2. 当社の決済レートを記載しております。

(2) 主な当社グループの状況及び業績

名称及び事業内容	資本金 及び 決算期	議決権の 所有割合		前第2四半期 累計期間 (百万円)	当第2四半期 累計期間 (百万円)	増減率 (%)
当社						
カゴメ(株) 食品製造販売業	19,985百万円 3月	-	売上高	93,873	89,239	△4.9
			営業利益	7,464	3,980	△46.7
			四半期純利益	5,060	3,380	△33.2
			総資産	146,480	157,178	+7.3
			純資産	94,469	102,112	+8.1

連結子会社

加太菜園(株) 農産物の生産・販売 (注1)	90百万円 12月	70.00%	売上高	467	567	+21.4
			営業利益	94	176	+86.6
			四半期純利益	91	177	+92.7
			総資産	1,413	1,447	+2.4
			純資産	△370	△249	-
響灘菜園(株) 農産物の生産・販売 (注1)	50百万円 12月	66.00%	売上高	716	753	+5.2
			営業利益	107	165	+53.1
			四半期純利益	105	165	+57.2
			総資産	1,775	1,652	△6.9
			純資産	△953	△909	-
いわき小名浜菜園(株) 農産物の生産・販売 (注1)	10百万円 12月	49.00%	売上高	800	980	+22.5
			営業利益	103	226	+118.6
			四半期純利益	586	264	△54.8
			総資産	1,811	2,011	+11.0
			純資産	△1,569	△1,477	-
カゴメ不動産(株) 不動産業	98百万円 2月	100%	売上高	411	419	+2.1
			営業利益	35	74	+110.4
			四半期純利益	18	43	+132.8
			総資産	5,820	6,138	+5.5
			純資産	2,586	2,658	+2.8
カゴメ物流サービス(株) 物流業・倉庫業	80百万円 2月	100%	売上高	7,160	7,532	+5.2
			営業利益	44	182	+306.0
			四半期純利益	25	101	+292.0
			総資産	3,851	3,815	△0.9
			純資産	2,233	2,296	+2.8
KAGOME INC. 食品製造販売業 (注2)	33百万 米ドル 12月	100%	売上高	5,337 [66,940千米ドル]	6,491 [67,910千米ドル]	+21.6 [+1.5]
			営業利益	251 [3,156千米ドル]	354 [3,709千米ドル]	+40.9 [+17.5]
			四半期純利益	155 [1,949千米ドル]	217 [2,270千米ドル]	+39.7 [+16.5]
			総資産	5,171 [65,210千米ドル]	6,936 [70,355千米ドル]	+34.1 [+7.9]
			純資産	3,459 [43,617千米ドル]	4,800 [48,689千米ドル]	+38.8 [+11.6]
Vegitalia S.p.A. 食品製造販売業	10百万 ユーロ 12月	100%	売上高	756 [7,310千ユーロ]	1,090 [8,690千ユーロ]	+44.2 [+18.9]
			営業利益	△218 [△2,114千ユーロ]	△215 [△1,716千ユーロ]	- [-]
			四半期純利益	△248 [△2,400千ユーロ]	△228 [△1,823千ユーロ]	- [-]
			総資産	1,467 [14,860千ユーロ]	2,126 [16,546千ユーロ]	+44.9 [+11.3]
			純資産	△193 [△1,955千ユーロ]	427 [3,325千ユーロ]	- [-]

名称及び事業内容	資本金 及び 決算期	議決権の 所有割合		前第2四半期 累計期間 (百万円)	当第2四半期 累計期間 (百万円)	増減率 (%)
Holding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S. A. 食品製造販売業 (注3)	550千 ユーロ 12月	55.51%	売上高	3,038 [29,372千ユーロ]	4,053 [32,297千ユーロ]	+33.4 [+10.0]
			営業利益	△92 [△897千ユーロ]	369 [2,945千ユーロ]	- [-]
			四半期純利益	△175 [△1,697千ユーロ]	262 [2,095千ユーロ]	- [-]
			総資産	7,074 [71,644千ユーロ]	11,108 [86,424千ユーロ]	+57.0 [+20.6]
			純資産	2,306 [23,357千ユーロ]	3,452 [26,859千ユーロ]	+49.7 [+15.0]
Kagome Australia Pty Ltd. 食品製造販売業 (注4)	98百万 豪ドル 12月	100%	売上高	2,390 [29,031千豪ドル]	1,806 [18,636千豪ドル]	△24.5 [△35.8]
			営業利益	△154 [△1,872千豪ドル]	△37 [△382千豪ドル]	- [-]
			四半期純利益	△138 [△1,683千豪ドル]	△29 [△307千豪ドル]	- [-]
			総資産	6,654 [83,548千豪ドル]	8,049 [88,341千豪ドル]	+21.0 [+5.7]
			純資産	6,228 [78,194千豪ドル]	6,695 [73,474千豪ドル]	+7.5 [△6.0]
台湾可果美股份有限公司 食品製造販売業	316百万 台湾ドル 12月	50.40%	売上高	941 [350百万台湾ドル]	1,116 [346百万台湾ドル]	+18.5 [△1.2]
			営業利益	67 [25百万台湾ドル]	90 [27百万台湾ドル]	+33.6 [+11.3]
			四半期純利益	61 [23百万台湾ドル]	82 [25百万台湾ドル]	+33.3 [+11.1]
			総資産	2,060 [776百万台湾ドル]	2,576 [782百万台湾ドル]	+25.1 [+0.8]
			純資産	1,768 [666百万台湾ドル]	2,224 [675百万台湾ドル]	+25.8 [+1.4]
可果美(杭州)食品 有限公司 食品製造販売業	32.1百万 米ドル 12月	74.55%	売上高	234 [18百万円]	348 [22百万円]	+48.9 [+21.5]
			営業利益	△145 [△11百万円]	△114 [△7百万円]	- [-]
			四半期純利益	△134 [△10百万円]	△85 [△5百万円]	- [-]
			総資産	496 [39百万円]	344 [21百万円]	△30.5 [△45.6]
			純資産	91 [7百万円]	△123 [△7百万円]	- [-]
可果美餐飲管理(無錫) 有限公司 オフィス給食事業	3百万 米ドル 12月	70.00%	売上高	14 [1百万円]	27 [1百万円]	+89.3 [+54.5]
			営業利益	△33 [△2百万円]	△18 [△1百万円]	- [-]
			四半期純利益	△34 [△2百万円]	△19 [△1百万円]	- [-]
			総資産	287 [22百万円]	235 [14百万円]	△18.2 [△36.0]
			純資産	113 [9百万円]	45 [2百万円]	△59.6 [△68.4]
OSOTSPA KAGOME CO., LTD. 飲料製品の商品開発事業	150百万 バーツ 12月	43.00%	売上高	- [-]	- [-]	- [-]
			営業利益	- [-]	△20 [△6百万バーツ]	- [-]
			四半期純利益	- [-]	△19 [△6百万バーツ]	- [-]
			総資産	- [-]	451 [142百万バーツ]	- [-]
			純資産	- [-]	432 [136百万バーツ]	- [-]

カゴメ(株) (2811) 平成26年3月期 第2四半期決算短信

名称及び事業内容	資本金 及び 決算期	議決権の 所有割合		前第2四半期 累計期間 (百万円)	当第2四半期 累計期間 (百万円)	増減率 (%)
持分法適用会社（関連会社）						
世羅菜園(株) 農産物の生産・販売 (注1)	85百万円 12月	47.06%	売上高	621	719	+15.9
			営業利益	153	208	+36.1
			四半期純利益	91	125	+36.6
			総資産	1,342	1,439	+7.2
			純資産	273	392	+43.5

- (注) 1. 前連結会計年度において、より適切に連結経営管理を行うため、加太菜園(株)、響灘菜園(株)、いわき小名浜菜園(株)及び世羅菜園(株)の決算日を2月末日から12月31日に変更いたしました。
これに伴い、上記各社の業績は、前第2四半期累計期間においては3月～8月の6ヶ月間、当第2四半期累計期間においては1月～6月の6ヶ月間となっております。
2. KAGOME INC. の業績は、同社子会社の内蒙古可果美食品有限公司及びKAGOME FOODS INC. を連結しております。
3. Holding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S.A. の業績は、同社子会社のIndustria de Transformacao de Produtos Alimentares, S.A. 及びFomento da Industria do Tomate, S.A. を連結しております。
4. Kagome Australia Pty Ltd. の業績は、同社子会社のKagome Foods Australia Pty Ltd. 及びKagome Farms Australia Pty Ltd. を連結しております。

(3) 販売費及び一般管理費明細

(単位：百万円、%)

期 別 科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		増減		前連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
販 売 手 数 料	2,575	2.4	2,746	2.6	170	6.6	4,795	2.4
販 売 促 進 費	19,985	18.9	16,642	16.0	△ 3,342	△ 16.7	37,751	19.2
広 告 宣 伝 費	4,111	3.9	4,394	4.2	283	6.9	7,053	3.6
運 賃 ・ 保 管 料	5,396	5.1	5,720	5.5	323	6.0	10,147	5.2
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	22	0.0	18	0.0	△ 3	△ 15.9	45	0.0
人 件 費	7,626	7.2	7,948	7.7	322	4.2	15,584	7.9
減 価 償 却 費	749	0.7	754	0.7	5	0.7	1,656	0.8
の れ ん 償 却 費	354	0.3	417	0.4	62	17.7	712	0.4
そ の 他	4,787	4.6	5,288	5.3	501	10.5	9,651	4.9
合 計	45,608	43.1	43,931	42.4	△ 1,676	△ 3.7	87,398	44.6

(注) 百分比は、売上高に対する割合です。

(4) 売上原価に含まれるたな卸資産廃棄損及び評価損明細

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
商 品 及 び 製 品	83	129	105
原 材 料	41	51	151
輸 入 雑 損 失 等	39	112	110
合 計	164	294	367

(5) 有価証券関係

前第2四半期連結会計期間末(平成24年9月30日)

満期保有目的の債券で時価のあるもの及びその他有価証券で時価のあるものが、事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて変動が見られます。

1. 満期保有目的の債券で時価のあるもの

	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
社債	5,157	5,163	5
計	5,157	5,163	5

2. その他有価証券で時価のあるもの

	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	取得原価(百万円)	差額(百万円)
株式	10,178	9,135	1,042
計	10,178	9,135	1,042

当第2四半期連結会計期間末(平成25年9月30日)

満期保有目的の債券で時価のあるもの及びその他有価証券で時価のあるものが、事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて変動が見られます。

1. 満期保有目的の債券で時価のあるもの

	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
社債	5,205	5,208	3
計	5,205	5,208	3

2. その他有価証券で時価のあるもの

	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	取得原価(百万円)	差額(百万円)
株式	12,741	9,092	3,648
計	12,741	9,092	3,648

前連結会計年度(平成25年3月31日)

1. 満期保有目的の債券で時価のあるもの

	連結貸借対照表 計上額(百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
社債	5,183	5,180	△ 3
計	5,183	5,180	△ 3

2. その他有価証券で時価のあるもの

	連結貸借対照表 計上額(百万円)	取得原価(百万円)	差額(百万円)
株式	12,517	9,091	3,426
計	12,517	9,091	3,426

(6) 四半期損益情報

(単位：百万円)

前連結会計年度	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間	第4四半期 連結会計期間	通期
	(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	(自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	(自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	(自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
売上高	51,491	54,384	47,336	43,020	196,233
(対前年同期増減率)	(18.2%)	(7.1%)	(6.9%)	(3.8%)	(9.0%)
営業利益	4,225	3,278	2,545	△770	9,278
(対売上高比率)	(8.2%)	(6.0%)	(5.4%)	(△1.8%)	(4.7%)
経常利益	4,487	3,381	2,723	△567	10,025
(対売上高比率)	(8.7%)	(6.2%)	(5.8%)	(△1.3%)	(5.1%)
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,368	3,490	2,646	△965	10,539
(対売上高比率)	(10.4%)	(6.4%)	(5.6%)	(△2.2%)	(5.4%)
四半期(当期)純利益	3,525	2,148	1,450	△644	6,480
(対売上高比率)	(6.8%)	(4.0%)	(3.1%)	(△1.5%)	(3.3%)

(単位：百万円)

当連結会計年度	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間	第4四半期 連結会計期間	通期予想
	(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	(自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	(自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	(自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)
売上高	50,843	52,890			195,000
(対前年同期増減率)	(△1.3%)	(△2.7%)			(△0.6%)
営業利益	2,184	2,836			6,800
(対売上高比率)	(4.3%)	(5.4%)			(3.5%)
経常利益	2,473	2,994			7,200
(対売上高比率)	(4.9%)	(5.7%)			(3.7%)
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,775	3,586			7,900
(対売上高比率)	(5.5%)	(6.8%)			(4.1%)
四半期(当期)純利益	1,692	2,301			4,700
(対売上高比率)	(3.3%)	(4.4%)			(2.4%)

(7) セグメント売上高及びセグメント利益

〈第1四半期連結会計期間〉

平成25年3月期第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日～平成24年6月30日) - 実績

(単位: 百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額	
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計				
									米国	欧州	豪州	計						
売上高																		
外部顧客に対する売上高	25,768	6,971	2,362	2,986	1,709	6,225	491	46,515	2,716	222	1,489	4,427	548	4,976	51,491	-		51,491
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	3,099	3,099	15	127	-	142	11	154	3,254	△ 3,254		-
計	25,768	6,971	2,362	2,986	1,709	6,225	3,591	49,614	2,731	349	1,489	4,570	560	5,131	54,745	△ 3,254		51,491
構成比(%)	47.1	12.7	4.3	5.5	3.1	11.4	6.6	90.7	5.0	0.6	2.7	8.3	1.0	9.3	100.0	-		-
営業利益又は損失(△)	1,893	570	668	588	△ 38	533	28	4,244	156	△ 101	△ 27	27	△ 46	△ 18	-	-		4,225
売上高営業利益率(%)	7.3	8.2	28.3	19.7	△ 2.2	8.6	0.8	8.6	5.7	△ 29.1	△ 1.9	0.6	△ 8.2	△ 0.4	-	-		8.2

平成26年3月期第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日) - 実績

(単位: 百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額	
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計				
									米国	欧州	豪州	計						
売上高																		
外部顧客に対する売上高	24,255	5,894	2,618	2,966	1,796	6,402	533	44,467	3,064	1,787	887	5,739	636	6,375	50,843	-		50,843
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	3,407	3,407	22	861	4	887	28	916	4,323	△ 4,323		-
計	24,255	5,894	2,618	2,966	1,796	6,402	3,940	47,875	3,086	2,649	891	6,626	664	7,291	55,166	△ 4,323		50,843
構成比(%)	44.0	10.7	4.7	5.4	3.3	11.6	7.1	86.8	5.6	4.8	1.6	12.0	1.2	13.2	100.0	-		-
営業利益又は損失(△)	1,244	20	762	△ 159	△ 372	409	135	2,040	189	△ 43	20	166	△ 22	144	-	-		2,184
売上高営業利益率(%)	5.1	0.3	29.1	△ 5.4	△ 20.7	6.4	3.4	4.3	6.1	△ 1.6	2.3	2.5	△ 3.3	2.0	-	-		4.3

第1四半期連結会計期間 - 増減

(単位: 百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額	
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計				
									米国	欧州	豪州	計						
売上高																		
外部顧客に対する売上高	△ 1,512	△ 1,077	256	△ 20	87	177	41	△ 2,047	347	1,565	△ 601	1,311	87	1,399	△ 648	-		△ 648
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	307	307	6	734	4	745	16	761	1,069	△ 1,069		-
計	△ 1,512	△ 1,077	256	△ 20	87	177	349	△ 1,739	354	2,299	△ 597	2,056	103	2,160	420	△ 1,069		△ 648
増減率(%)	△ 5.9	△ 15.5	10.9	△ 0.7	5.1	2.9	9.7	△ 3.5	13.0	658.1	△ 40.1	45.0	18.5	42.1	0.8	-		△ 1.3
営業利益又は損失(△)	△ 648	△ 549	94	△ 748	△ 334	△ 124	107	△ 2,203	32	57	48	138	24	162	-	-		△ 2,040

<第2四半期連結会計期間>

平成25年3月期第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日～平成24年9月30日) - 実績

(単位: 百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計			
									米国	欧州	豪州	計					
売上高																	
外部顧客に対する売上高	27,485	6,687	3,066	2,219	2,326	6,570	421	48,777	2,595	1,497	901	4,993	613	5,607	54,384	-	54,384
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	3,534	3,534	11	367	-	378	16	394	3,929	△ 3,929	-
計	27,485	6,687	3,066	2,219	2,326	6,570	3,956	52,311	2,606	1,864	901	5,372	629	6,002	58,314	△ 3,929	54,384
構成比(%)	47.1	11.5	5.3	3.8	4.0	11.2	6.8	89.7	4.5	3.2	1.5	9.2	1.1	10.3	100.0	-	-
営業利益又は損失(△)	2,202	594	△ 368	198	281	559	103	3,570	106	△ 196	△ 133	△ 223	△ 69	△ 292	-	-	3,278
売上高営業利益率(%)	8.0	8.9	△ 12.0	8.9	12.1	8.5	2.6	6.8	4.1	△ 10.6	△ 14.8	△ 4.2	△ 11.0	△ 4.9	-	-	6.0

平成26年3月期第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日～平成25年9月30日) - 実績

(単位: 百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計			
									米国	欧州	豪州	計					
売上高																	
外部顧客に対する売上高	24,983	5,687	3,035	2,612	2,636	6,718	400	46,074	3,475	1,673	918	6,067	748	6,816	52,890	-	52,890
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	3,691	3,691	△ 70	821	△ 4	746	79	826	4,517	△ 4,517	-
計	24,983	5,687	3,035	2,612	2,636	6,718	4,091	49,766	3,405	2,494	914	6,814	827	7,642	57,408	△ 4,517	52,890
構成比(%)	43.5	9.9	5.3	4.6	4.6	11.7	7.1	86.7	6.0	4.3	1.6	11.9	1.4	13.3	100.0	-	-
営業利益又は損失(△)	1,385	366	△ 631	803	411	255	129	2,721	149	85	△ 80	153	△ 39	114	-	-	2,836
売上高営業利益率(%)	5.5	6.4	△ 20.8	30.8	15.6	3.8	3.2	5.5	4.4	3.4	△ 8.8	2.3	△ 4.8	1.5	-	-	5.4

第2四半期連結会計期間 - 増減

(単位: 百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計			
									米国	欧州	豪州	計					
売上高																	
外部顧客に対する売上高	△ 2,502	△ 1,000	△ 30	393	310	147	△ 21	△ 2,702	880	176	17	1,073	135	1,208	△ 1,493	-	△ 1,493
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	157	157	△ 81	453	△ 4	368	63	431	588	△ 588	-
計	△ 2,502	△ 1,000	△ 30	393	310	147	135	△ 2,545	799	629	12	1,442	198	1,640	△ 905	△ 588	△ 1,493
増減率(%)	△ 9.1	△ 15.0	△ 1.0	17.7	13.3	2.3	3.4	△ 4.9	30.7	33.8	1.4	26.8	31.5	27.3	△ 1.6	-	△ 2.7
営業利益又は損失(△)	△ 816	△ 228	△ 263	605	130	△ 304	26	△ 848	42	282	52	376	29	406	-	-	△ 441

<第2四半期連結累計期間>

平成25年3月期第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日) — 実績

(単位: 百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額	
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計				
									米国	欧州	豪州	計						
売上高																		
外部顧客に対する売上高	53,253	13,659	5,428	5,206	4,035	12,795	913	95,292	5,311	1,719	2,390	9,421	1,162	10,583	105,876	-	105,876	
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	6,634	6,634	26	495	-	521	28	549	7,183	△ 7,183	-	
計	53,253	13,659	5,428	5,206	4,035	12,795	7,547	101,926	5,337	2,214	2,390	9,942	1,190	11,133	113,060	△ 7,183	105,876	
構成比(%)	47.1	12.1	4.8	4.6	3.6	11.3	6.7	90.2	4.7	1.9	2.1	8.7	1.1	9.8	100.0	-	-	
営業利益又は損失(△)	4,095	1,165	299	786	242	1,093	131	7,814	263	△ 298	△ 160	△ 195	△ 115	△ 310	-	-	7,503	
売上高営業利益率(%)	7.7	8.5	5.5	15.1	6.0	8.5	1.7	7.7	4.9	△ 13.5	△ 6.7	△ 2.0	△ 9.7	△ 2.8	-	-	7.1	

平成26年3月期第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日) — 実績

(単位: 百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額	
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計				
									米国	欧州	豪州	計						
売上高																		
外部顧客に対する売上高	49,238	11,581	5,654	5,579	4,433	13,121	933	90,542	6,539	3,461	1,806	11,806	1,384	13,191	103,734	-	103,734	
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	7,099	7,099	△ 48	1,682	-	1,634	107	1,742	8,841	△ 8,841	-	
計	49,238	11,581	5,654	5,579	4,433	13,121	8,032	97,641	6,491	5,143	1,806	13,441	1,492	14,934	112,575	△ 8,841	103,734	
構成比(%)	43.7	10.3	5.0	5.0	3.9	11.7	7.1	86.7	5.8	4.6	1.6	12.0	1.3	13.3	100.0	-	-	
営業利益又は損失(△)	2,630	386	131	643	39	665	265	4,762	338	41	△ 60	319	△ 61	258	-	-	5,021	
売上高営業利益率(%)	5.3	3.3	2.3	11.5	0.9	5.1	3.3	4.9	5.2	0.8	△ 3.3	2.4	△ 4.1	1.7	-	-	4.8	

第2四半期連結累計期間 — 増減

(単位: 百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額	
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計				
									米国	欧州	豪州	計						
売上高																		
外部顧客に対する売上高	△ 4,014	△ 2,077	225	372	397	325	20	△ 4,750	1,228	1,741	△ 584	2,385	222	2,607	△ 2,142	-	△ 2,142	
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	464	464	△ 74	1,187	-	1,113	79	1,192	1,657	△ 1,657	-	
計	△ 4,014	△ 2,077	225	372	397	325	484	△ 4,285	1,153	2,929	△ 584	3,498	301	3,800	△ 484	△ 1,657	△ 2,142	
増減率(%)	△ 7.5	△ 15.2	4.2	7.2	9.9	2.5	6.4	△ 4.2	21.6	132.3	△ 24.5	35.2	25.4	34.1	△ 0.4	-	△ 2.0	
営業利益又は損失(△)	△ 1,465	△ 778	△ 168	△ 142	△ 203	△ 428	134	△ 3,052	75	339	100	515	53	569	-	-	△ 2,482	

<第3・4四半期連結会計期間>

平成25年3月期第3・4四半期連結会計期間（平成24年10月1日～平成25年3月31日）－ 実績

(単位：百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計			
									米国	欧州	豪州	計					
売上高																	
外部顧客に対する売上高	42,840	13,892	2,501	3,725	3,664	12,249	926	79,800	5,294	2,744	1,367	9,407	1,149	10,556	90,356	-	90,356
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	5,286	5,286	1,130	900	8	2,038	51	2,090	7,377	△ 7,377	-
計	42,840	13,892	2,501	3,725	3,664	12,249	6,213	85,087	6,424	3,644	1,375	11,445	1,201	12,646	97,734	△ 7,377	90,356
構成比(%)	43.9	14.2	2.6	3.8	3.7	12.5	6.4	87.1	6.6	3.7	1.4	11.7	1.2	12.9	100.0	-	-
営業利益又は損失(△)	1,225	518	△ 295	19	236	402	12	2,119	287	△ 101	△ 385	△ 198	△ 146	△ 345	-	-	1,774
売上高営業利益率(%)	2.9	3.7	△ 11.8	0.5	6.4	3.3	0.2	2.5	4.5	△ 2.8	△ 28.0	△ 1.7	△ 12.2	△ 2.7	-	-	2.0

平成26年3月期第3・4四半期連結会計期間（平成25年10月1日～平成26年3月31日）－ 差引予想

(単位：百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計			
									米国	欧州	豪州	計					
売上高																	
外部顧客に対する売上高	40,861	11,718	2,645	3,920	4,266	12,978	866	77,257	6,260	4,238	1,693	12,193	1,815	14,008	91,265	-	91,265
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	5,900	5,900	1,148	1,317	200	2,665	92	2,757	8,658	△ 8,658	-
計	40,861	11,718	2,645	3,920	4,266	12,978	6,767	83,158	7,408	5,556	1,893	14,858	1,907	16,765	99,924	△ 8,658	91,265
構成比(%)	40.9	11.7	2.6	3.9	4.3	13.0	6.8	83.2	7.4	5.6	1.9	14.9	1.9	16.8	100.0	-	-
営業利益又は損失(△)	1,469	613	△ 131	△ 143	360	234	34	2,437	361	△ 141	△ 439	△ 219	△ 438	△ 658	-	-	1,778
売上高営業利益率(%)	3.6	5.2	△ 5.0	△ 3.7	8.5	1.8	0.5	2.9	4.9	△ 2.5	△ 23.2	△ 1.5	△ 23.0	△ 3.9	-	-	1.9

第3・4四半期連結会計期間－ 増減

(単位：百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルトマト事業				アジア	計			
									米国	欧州	豪州	計					
売上高																	
外部顧客に対する売上高	△ 1,979	△ 2,173	144	195	601	728	△ 59	△ 2,542	965	1,494	326	2,786	665	3,451	908	-	908
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	614	614	17	417	191	626	40	667	1,281	△ 1,281	-
計	△ 1,979	△ 2,173	144	195	601	728	554	△ 1,928	983	1,911	518	3,412	706	4,118	2,190	△ 1,281	908
増減率(%)	△ 4.6	△ 15.6	5.8	5.2	16.4	6.0	8.9	△ 2.3	15.3	52.4	37.7	29.8	58.8	32.6	2.2	-	1.0
営業利益又は損失(△)	243	94	164	△ 163	124	△ 167	21	317	73	△ 40	△ 54	△ 21	△ 292	△ 313	-	-	4

カゴメ(株) (2811) 平成26年3月期 第2四半期決算短信

<通期>

平成25年3月期通期(平成24年4月1日～平成25年3月31日) - 実績

(単位:百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額	
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルマト事業				アジア	計				
									米国	欧州	豪州	計						
売上高																		
外部顧客に対する売上高	96,093	27,551	7,929	8,931	7,700	25,045	1,839	175,093	10,606	4,463	3,758	18,828	2,311	21,140	196,233	-	196,233	
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	11,920	11,920	1,156	1,395	8	2,559	80	2,639	14,560	△ 14,560	-	
計	96,093	27,551	7,929	8,931	7,700	25,045	13,760	187,013	11,762	5,859	3,766	21,388	2,391	23,780	210,794	△ 14,560	196,233	
構成比(%)	45.5	13.1	3.8	4.2	3.7	11.9	6.5	88.7	5.6	2.8	1.8	10.2	1.1	11.3	100.0	-	-	
営業利益又は損失(△)	5,321	1,683	3	806	478	1,496	143	9,934	551	△ 399	△ 546	△ 394	△ 261	△ 656	-	-	9,278	
売上高営業利益率(%)	5.5	6.1	0.0	9.0	6.2	6.0	1.0	5.3	4.7	△ 6.8	△ 14.5	△ 1.8	△ 10.9	△ 2.8	-	-	4.7	

平成26年3月期通期(平成25年4月1日～平成26年3月31日) - 予想

(単位:百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額	
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルマト事業				アジア	計				
									米国	欧州	豪州	計						
売上高																		
外部顧客に対する売上高	90,100	23,300	8,300	9,500	8,700	26,100	1,800	167,800	12,800	7,700	3,500	24,000	3,200	27,200	195,000	-	195,000	
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	13,000	13,000	1,100	3,000	200	4,300	200	4,500	17,500	△ 17,500	-	
計	90,100	23,300	8,300	9,500	8,700	26,100	14,800	180,800	13,900	10,700	3,700	28,300	3,400	31,700	212,500	△ 17,500	195,000	
構成比(%)	42.4	11.0	3.9	4.5	4.1	12.3	7.0	85.2	6.5	5.0	1.7	13.2	1.6	14.8	100.0	-	-	
営業利益又は損失(△)	4,100	1,000	-	500	400	900	300	7,200	700	△ 100	△ 500	100	△ 500	△ 400	-	-	6,800	
売上高営業利益率(%)	4.6	4.3	-	5.3	4.6	3.4	2.0	4.0	5.0	△ 0.9	△ 13.5	0.4	△ 14.7	△ 1.3	-	-	3.5	

通期 - 増減

(単位:百万円)

	国内事業								海外事業						セグメント売上	調整額	連結財務諸表計上額	
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	通販	業務用	その他	計	グローバルマト事業				アジア	計				
									米国	欧州	豪州	計						
売上高																		
外部顧客に対する売上高	△ 5,993	△ 4,251	370	568	999	1,054	△ 39	△ 7,293	2,193	3,236	△ 258	5,171	888	6,059	△ 1,233	-	△ 1,233	
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	1,079	1,079	△ 56	1,604	191	1,740	119	1,860	2,939	△ 2,939	-	
計	△ 5,993	△ 4,251	370	568	999	1,054	1,039	△ 6,213	2,137	4,840	△ 66	6,911	1,008	7,919	1,705	△ 2,939	△ 1,233	
増減率(%)	△ 6.2	△ 15.4	4.7	6.4	13.0	4.2	7.6	△ 3.3	18.2	82.6	△ 1.8	32.3	42.1	33.3	0.8	-	△ 0.6	
営業利益又は損失(△)	△ 1,221	△ 683	△ 3	△ 306	△ 78	△ 596	156	△ 2,734	148	299	46	494	△ 238	256	-	-	△ 2,478	

(8) 四半期個別貸借対照表

(単位: 百万円、%)

科 目	前第2四半期 会計期間 (平成24年9月30日)		当第2四半期 会計期間 (平成25年9月30日)		増 減 金 額	前事業年度 (平成25年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
	(資産の部)						
流 動 資 産							
現 金 及 び 預 金	17,171		9,364		△ 7,807	13,044	
売 掛 金	27,322		26,775		△ 546	23,851	
有 価 証 券	15,214		12,677		△ 2,536	14,817	
商 品 及 び 製 品	6,696		7,344		648	6,989	
仕 掛 品	20		38		17	35	
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	9,621		12,601		2,980	11,496	
前 払 費 用	614		680		65	374	
繰 延 税 金 資 産	1,940		56		△ 1,883	490	
短 期 貸 付 金	535		11,372		10,837	5,693	
未 収 入 金	3,974		3,584		△ 390	3,445	
デ リ バ テ ィ ブ 債 権	—		3,763		3,763	2,566	
そ の 他 の 債 権	201		206		4	50	
貸 倒 引 当 金	△ 42		△ 69		△ 27	△ 62	
流 動 資 産 合 計	83,271	56.8	88,395	56.2	5,124	82,792	54.8
固 定 資 産							
有 形 固 定 資 産							
建 物 (純額)	7,832		8,717		884	8,778	
建 物 取 得 価 額	22,936		23,961		1,024	24,144	
減 価 償 却 累 計 額	△ 15,103		△ 15,243		△ 140	△ 15,366	
構 築 物 (純額)	604		671		67	656	
構 築 物 取 得 価 額	3,463		3,488		25	3,540	
減 価 償 却 累 計 額	△ 2,858		△ 2,817		41	△ 2,883	
機 械 及 び 装 置 (純額)	5,912		8,505		2,592	8,576	
機 械 及 び 装 置 取 得 価 額	47,407		50,187		2,780	50,240	
減 価 償 却 累 計 額	△ 41,495		△ 41,682		△ 187	△ 41,663	
車 両 運 搬 具 (純額)	6		16		9	5	
車 両 運 搬 具 取 得 価 額	92		98		5	87	
減 価 償 却 累 計 額	△ 85		△ 81		4	△ 82	
工 具、器 具 及 び 備 品 (純額)	570		800		230	740	
工 具、器 具 及 び 備 品 取 得 価 額	4,610		4,932		322	4,860	
減 価 償 却 累 計 額	△ 4,040		△ 4,132		△ 92	△ 4,119	
土 地	5,168		5,162		△ 6	5,168	
リ ー ス 資 産 (純額)	679		480		△ 199	565	
リ ー ス 資 産 取 得 価 額	1,855		1,143		△ 711	1,411	
減 価 償 却 累 計 額	△ 1,175		△ 663		512	△ 846	
建 設 仮 勘 定	2,352		95		△ 2,257	42	
有 形 固 定 資 産 合 計	23,127	15.8	24,448	15.6	1,321	24,533	16.3
無 形 固 定 資 産							
借 地 権	155		155		—	155	
商 標	4		1		△ 2	1	
ソ フ ト ウ ェ ア	2,677		2,400		△ 277	2,694	
そ の 他 の 債 権	42		38		△ 3	38	
無 形 固 定 資 産 合 計	2,879	2.0	2,595	1.6	△ 284	2,890	1.9
投 資 そ の 他 の 資 産							
投 資 有 価 証 券	11,420		13,338		1,918	14,057	
関 係 会 社 株 式	13,676		15,078		1,401	14,415	
出 資 金	15		15		—	15	
関 係 会 社 出 資 金	349		347		△ 2	136	
関 係 会 社 長 期 貸 付 金	8,969		10,305		1,336	9,399	
破 産 更 生 債 権 等	4		3		△ 1	3	
長 期 前 払 費 用	39		68		28	68	
繰 延 税 金 資 産	1,780		853		△ 927	949	
保 険 積 立 資 産	125		125		—	125	
敷 金	620		622		2	628	
長 期 預 金	—		1,000		1,000	1,000	
そ の 他 の 債 権	463		427		△ 35	427	
貸 倒 引 当 金	△ 265		△ 448		△ 183	△ 447	
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	37,201	25.4	41,738	26.6	4,537	40,779	27.0
固 定 資 産 合 計	63,208	43.2	68,783	43.8	5,574	68,203	45.2
資 産 合 計	146,480	100.0	157,178	100.0	10,698	150,995	100.0

(単位：百万円、%)

科 目	期 別		前第2四半期 会計期間 (平成24年9月30日)		当第2四半期 会計期間 (平成25年9月30日)		増 減	前事業年度 (平成25年3月31日)		
			金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	構成比	
(負債の部)										
流動負債合計			38,379	26.2	36,705	23.3	△ 1,674	33,857	22.4	
支払手形			271		244		△ 26	209		
買掛金			14,662		12,931		△ 1,731	13,390		
短期借入金			1,030		6,418		5,388	2,341		
1年内返済予定の長期借入金			746		1,686		940	686		
リース債務			351		180		△ 170	276		
未払金			12,825		9,990		△ 2,834	11,255		
未払費用			600		640		39	589		
未払法人税等			3,064		2,121		△ 943	2,172		
未払消費税等			454		215		△ 239	—		
預り金			94		100		5	102		
前受収益			2		2		△ 0	4		
賞与引当金			1,775		1,796		21	2,217		
役員賞与引当金			19		24		4	59		
設備関係支払手形			254		152		△ 102	328		
デリバティブ債務			2,014		—		△ 2,014	—		
その他の			211		200		△ 10	223		
流動負債合計			38,379	26.2	36,705	23.3	△ 1,674	33,857	22.4	
固定負債合計			13,631	9.3	18,360	11.7	4,729	17,099	11.3	
負債合計			52,010	35.5	55,065	35.0	3,055	50,956	33.7	
(純資産の部)										
株主資本合計			95,087	64.9	97,339	61.9	2,252	96,154	63.7	
資本金			19,985	13.6	19,985	12.7	—	19,985	13.2	
資本剰余金			23,733	16.2	23,733	15.1	—	23,733	15.7	
資本準備金			23,733		23,733		—	23,733		
利益剰余金			51,579	35.2	54,038	34.4	2,459	52,647	34.9	
利益準備金			1,193		1,193		—	1,193		
その他利益剰余金			50,386		52,845		2,459	51,454		
固定資産圧縮積立金			971		1,252		280	1,252		
固定資産圧縮特別勘定積立金			160		—		△ 160	—		
トマト翁記念基金			100		170		70	70		
別途積立金			42,020		45,520		3,500	42,020		
繰越利益剰余金			7,134		5,903		△ 1,230	8,112		
自己株式			△ 211	△ 0.1	△ 418	△ 0.3	△ 206	△ 212	△ 0.1	
株主資本合計			95,087	64.9	97,339	61.9	2,252	96,154	63.7	
評価・換算差額等										
その他有価証券評価差額金			636	0.4	2,372	1.5	1,735	2,248	1.5	
繰延ヘッジ損益			△ 1,253	△ 0.8	2,400	1.6	3,654	1,636	1.1	
評価・換算差額等合計			△ 617	△ 0.4	4,773	3.1	5,390	3,885	2.6	
純資産合計			94,469	64.5	102,112	65.0	7,643	100,039	66.3	
負債純資産合計			146,480	100.0	157,178	100.0	10,698	150,995	100.0	

(注)この四半期個別貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(9) 四半期個別損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	前第2四半期 累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		当第2四半期 累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		増 減		前事業年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
売 上 高	93,873	100.0	89,239	100.0	△ 4,633	△ 4.9	172,756	100.0
売 上 原 価	43,915	46.8	45,072	50.5	1,156	2.6	81,992	47.5
売 上 総 利 益	49,957	53.2	44,166	49.5	△ 5,790	△ 11.6	90,764	52.5
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	42,493	45.2	40,186	45.0	△ 2,306	△ 5.4	80,761	46.7
営 業 利 益	7,464	8.0	3,980	4.5	△ 3,483	△ 46.7	10,002	5.8
営 業 外 収 益								
受 取 利 息	93		143		50		178	
有 価 証 券 利 息	30		18		△ 11		52	
受 取 配 当 金	256		191		△ 65		411	
為 替 差 益	—		14		14		111	
雑 収 入	161		138		△ 22		248	
営 業 外 収 益 合 計	541	0.6	506	0.6	△ 34	△ 6.4	1,003	0.6
営 業 外 費 用								
支 払 利 息	45		46		1		93	
貸 貸 収 入 原 価	40		18		△ 21		76	
為 替 差 損	24		—		△ 24		—	
雑 支 出	49		61		12		148	
営 業 外 費 用 合 計	159	0.2	127	0.2	△ 32	△ 20.4	318	0.2
経 常 利 益	7,845	8.4	4,359	4.9	△ 3,485	△ 44.4	10,687	6.2
特 別 利 益								
固 定 資 産 売 却 益	318		319		1		319	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	1		670		669		1	
債 務 保 証 損 失 引 当 金 戻 入 額	—		—		—		768	
特 別 利 益 合 計	319	0.3	990	1.1	670	209.7	1,089	0.6
特 別 損 失								
固 定 資 産 処 分 損	53		37		△ 16		191	
投 資 有 価 証 券 売 却 損	16		—		△ 16		17	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	—		—		—		51	
関 係 会 社 株 式 評 価 損	—		—		—		634	
関 係 会 社 出 資 金 評 価 損	—		—		—		259	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	—		—		—		194	
ゴ ル フ 会 員 権 評 価 損	2		—		△ 2		2	
事 業 整 理 損	0		—		△ 0		164	
特 別 損 失 合 計	73	0.1	37	0.0	△ 36	△ 49.3	1,515	0.9
税 引 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	8,092	8.6	5,313	6.0	△ 2,778	△ 34.3	10,261	5.9
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 税 法 人 税 等 調 整 額	3,082		1,932		△ 1,149		4,362	
法 人 税 等 合 計	△ 50		—		50		△ 228	
四 半 期 (当 期) 純 利 益	3,031	3.2	1,932	2.2	△ 1,098	△ 36.3	4,133	2.4
	5,060	5.4	3,380	3.8	△ 1,679	△ 33.2	6,128	3.5

(注) この四半期個別損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(9月30日に終了した3ヶ月間)

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第2四半期 会計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期 会計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)		増 減	
		金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率
売 上	高	48,124	100.0	45,351	100.0	△ 2,773	△ 5.8
売 上	原 価	22,261	46.3	22,683	50.0	421	1.9
売 上	総 利 益	25,863	53.7	22,667	50.0	△ 3,195	△ 12.4
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		22,420	46.5	20,640	45.5	△ 1,780	△ 7.9
営 業 利 益		3,442	7.2	2,027	4.5	△ 1,415	△ 41.1
営 業 外 収 益							
受 取 利 息		62		73		11	
有 価 証 券 利 息		12		9		△ 2	
受 取 配 当 金		15		23		7	
雑 収 入		84		56		△ 28	
営 業 外 収 益 合 計		175	0.4	162	0.3	△ 12	△ 7.0
営 業 外 費 用							
支 払 利 息		21		23		1	
貸 貸 収 入 原 価		20		10		△ 9	
為 替 差 損		0		4		3	
雑 支 出		29		16		△ 12	
営 業 外 費 用 合 計		71	0.2	55	0.1	△ 16	△ 22.4
経 常 利 益		3,546	7.4	2,134	4.7	△ 1,411	△ 39.8
特 別 利 益							
固 定 資 産 売 却 益		—		0		0	
投 資 有 価 証 券 売 却 益		—		668		668	
特 別 利 益 合 計		—	—	668	1.5	668	—
特 別 損 失							
固 定 資 産 処 分 損		32		24		△ 7	
ゴ ル フ 会 員 権 評 価 損		2		—		△ 2	
事 業 整 理 損		0		—		△ 0	
特 別 損 失 合 計		35	0.1	24	0.1	△ 10	△ 29.5
税 引 前 四 半 期 純 利 益		3,510	7.3	2,778	6.1	△ 732	△ 20.9
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		1,306		1,033		△ 273	
法 人 税 等		1,306	2.7	1,033	2.3	△ 273	△ 20.9
四 半 期 純 利 益		2,204	4.6	1,744	3.8	△ 459	△ 20.8

(注) この四半期個別損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

当資料お取扱い上の注意点

当資料はカゴメの現在の計画、見通し、戦略などのうち歴史的
事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたカゴメの
経営者の判断に基づいております。従いまして、これら業績見
通しのみに全面的な依拠することは控えるようお願い致しま
す。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績
見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきく
ださい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、以下のよ
うなものが含まれます。すなわち、①天候、特に夏場の低温 ②
異物混入等の製品事故 ③カゴメの事業領域を取り巻く経済情
勢、特に消費動向 ④変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激
しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品
やサービスをカゴメが企画・開発し続けていく能力 ⑤天災等
による生産施設における災害の発生などです。ただし、業績に影
響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。ま
た当資料は、あくまでカゴメをより深く理解していただくため
のものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。
さらに当資料に記載されている市場などのデータ等におきま
しても、当社が信頼に足りかつ正確であると判断した情報に
基づき作成しておりますが、将来の予測のみならず過去の
部分も含めて、見直し等により予告なしに変更することがあ
りますので注意ください。